

目 次

第1章 基礎概念	1
§1. 集合と写像	1
1.1. 記号と定義	1
1.2. 同値関係	3
1.3. 順序集合とツォルンの補題	5
§2. 演算と演算法則	6
§3. 半群とモノイド	6
§4. 群	9
4.1. 群の公理と例	9
4.2. 加群	11
§5. 環と体	12
§6. 多項式環	14
第2章 群論	18
§7. 部分群	18
§8. 剰余類	23
§9. 巡回群	26
§10. 正規部分群と剰余群	28
§11. 同型と準同型	30

11. 1.	定義と例	30
11. 2.	準同型定理と同型定理	33
11. 3.	自己同型群	35
§ 12.	群の作用	36
12. 1.	G -集合と置換表現	36
12. 2.	共役類	38
§ 13.	シローの定理	40
§ 14.	直 積	43
§ 15.	アーベル群	47
15. 1.	有限アーベル群	47
15. 2.	指標群と双対性	50
15. 3.	有限生成なアーベル群	52
§ 16.	可解群とべき零群	55
16. 1.	可解群	55
16. 2.	べき零群	60
§ 17.	組成列	63
§ 18.	作用域をもつ群	66
§ 19.*	クルルーレマクーシュミットの定理	68
19. 1.	自己準同型	68
19. 2.	クルルーレマクーシュミットの定理	69
§ 20.*	生成元と基本関係	73
20. 1.	自由群	73
20. 2.	生成元と関係式	75
第 3 章	環 論	81
§ 21.	イデアルと剰余環	81
21. 1.	イデアル	81
21. 2.	剰余環	84
§ 22.	準同型定理	87

§23. 素イデアルと極大イデアル	90
§24. 環の直和	93
§25. 商環と局所化	95
25.1. 商 環	95
25.2. 局所化	99
§26. 一意分解環	100
§27. R -加群	107
27.1. R -加群	107
27.2. R -自由加群	111
27.3. 自己準同型環	113
§28. 多元環	115
§29. ネーター環とアルチン環	117
29.1. 極大条件と極小条件	117
29.2. ネーター環とアルチン環	120
29.3. ヒルベルトの基定理	121
§30.* 単項イデアル整域上の加群	122
§31.* 半単純環	127
31.1. 根 基	127
31.2. 完全可約加群	130
31.3. 半単純環	132
 第4章 体 論	139
§32. 標 数	139
§33. 拡大体の基礎概念	140
33.1. 代数的拡大	140
33.2. 超越次数	143
33.3. 合成体	145
§34. 代数的閉包	146
34.1. 代数的閉包の存在	146

34.2. K -同型	148
§ 35. 分解体と正規拡大	150
35.1. 最小分解体	150
35.2. 正規拡大	151
§ 36. 分離拡大	153
36.1. 分離性	153
36.2. 分離拡大の単純性	158
36.3. 完全体	158
§ 37. ガロア拡大	159
37.1. ガロアの基本定理	159
37.2. 一つの応用	163
§ 38. 有限体	164
§ 39. 1 のべき根と巡回拡大	165
39.1. 円分体	165
39.2. ヒルベルトの定理 90	168
39.3. 巡回拡大	170
39.4. ウェダーバーンの定理	171
§ 40. 方程式の代数的可解性	172
40.1. 方程式の可解性とガロア群	172
40.2. n 次の一般方程式	174
 間の略解	178
あとがき	189
索引	191

